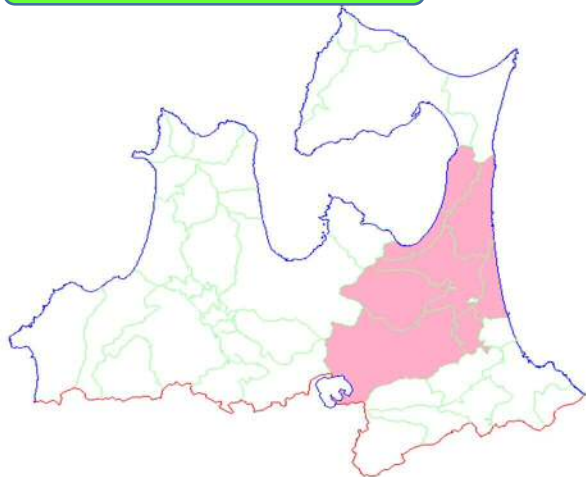


# 上十三地域保健医療圏

## 1. 圏域の現状

### 上十三地域保健医療圏の位置



### 【地勢等】

当地域は、県の東部に位置し、総面積は県土の21%に当たり、県内6つの二次保健医療圏の中で最大の広さを有しています。

気候は、地域北部が冬季多雪となる以外、積雪は比較的少ないものの、春の終わってから夏にかけて太平洋から冷たい偏東風（ヤマセ）が吹き付け、冷涼です。

また、八甲田連峰のカルデラ湖である十和田湖は国立公園に指定されているほか、丘陵地域（東部）には、小川原湖をはじめ多くの湖沼、河川を有し、豊かな自然環境に恵まれています。

構成市町村	十和田市 三沢市 野辺地町 七戸町 六戸町 横浜町 東北町 六ヶ所村				
人 口	1 7 5， 6 6 2人		面 積	2， 0 5 3． 8 8㎢	
年齢3区分別人口	0-14歳 15-64歳 65歳-	21,201人 (12.1%) 102,527人 (58.4%) 51,934人 (29.5%)	医療提供施設 (人口10万対)	施設数	病院 1 2 ( 6． 8) 診療所 9 1 (5 1． 8) 歯科診療所 6 7 (3 8． 1)
人口密度	8 5． 5 人／㎢			病床数	一般病床 1， 2 1 1床 (6 8 9． 3床) 療養病床 1 8 7床 (1 0 6． 4床) 精神病床 6 7 9床 (3 8 6． 5床) 感染症病床 4床 ( 2． 3床) 結核病床 0床 ( 0床)
世 帯 数	6 9， 0 3 2世帯				
1世帯当たり人口	2． 5 人				
人口動態	出生率 (人口千対) 死亡率 (人口千対) 乳児死亡率 (出生千対) 死産率 (出産千対)	7． 3 % 1 3． 0 % 3． 1 % 0． 8 %	医療従事者 (人口10万対)	医師 2 1 7人 (1 2 4． 4) 歯科医師 9 1人 ( 5 2． 2) 薬剤師 1 9 2人 ( 9 6． 6) 看護師 1， 3 1 8人 (7 3 9． 1) 准看護師 7 2 9人 (4 0 8． 8)	
医療完結率	入院： 8 0． 3 3 % 外来： 9 1． 5 4 %				
病床利用率	一般病床： 6 8． 4 % 療養病床： 7 9． 3 %		平均在院日数	一般病床： 1 5． 3 日 療養病床： 2 6 3． 9 日	

## 2. 圏域において重点的に取り組む事項

### (1) 災害時に向けた災害医療体制整備の充実

災害時に円滑な医療活動が行われるよう、災害医療体制の整備を充実します。

#### 【背景】

管内の災害医療体制として以下の課題があげられ、災害医療体制整備の必要性があります。

① 上十三管内が広く、傷病者の搬送に課題がある。

(災害拠点病院が南方に位置していること及びS C U拠点が遠いことにより、傷病者の医療搬送に時間がかかる、また十和田市休屋地区等のへき地があることから、災害時の孤立が懸念される。)

② 災害時、特殊な対応を必要とする施設が存在する。(原子力施設、米軍基地関係施設)

③ 関係機関の合同訓練が未実施のため、具体的な連携体制が構築されていない。

## 【これまでの取組】

平成 28 年 3 月 9 日に地域災害医療対策協議会を開催し、上十三地域における災害医療提供体制及び災害時における各関係機関の取組等について協議したところです。

## 【目標】

以下の方針により、災害医療体制を強化していきます。

- ① 管内全ての市町村との訓練の実施（避難所の運営）
- ② 中核病院との合同訓練
- ③ 必要物資等の定期的な確認
- ④ アクションカード作成の推進

## （２）糖尿病対策の推進

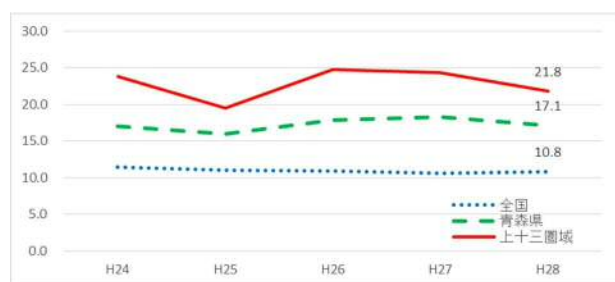
糖尿病は、他疾患の危険因子となり、重症化により失明や人工透析といった患者のＱＯＬの著しい低下や医療経済への大きな負担を生じさせる状態を招くことから、圏域において、早期発見、早期治療、重症化予防を推進する体制の整備を図ります。

## 【背景】

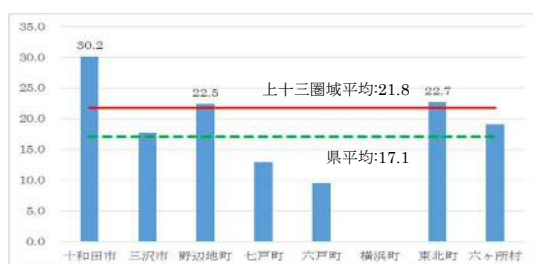
圏域の平成 28 年糖尿病死亡率は 21.8 で、全国ワースト 1 位の県（17.1）より高く、年次推移でも県平均を上回る状況が続いています。

糖尿病に係る医療体制としては、糖尿病の病診連携体制が一部あるものの、十分とは言えない状況です。

◆表 1：糖尿病死亡率の年次推移



◆表 2：市町村ごとの糖尿病死亡率等（平成 28 年）



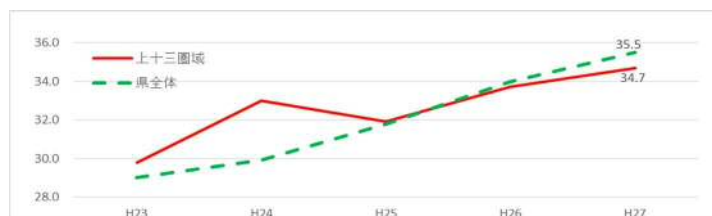
## 【これまでの取組】

出典：人口動態統計

出典：上十三保健所集計

市町村では、生活習慣病対策として、糖尿病の早期発見、早期治療、重症化予防の取組を進めてきました。中でも早期発見につなげるための特定健診受診率向上に力を入れ、県平均より高い数値で、毎年度上昇していましたが、平成 27 年度は 34.7%で、県（35.5%）より 0.8 ポイント下回りました。

◆表 3：特定健診受診率の推移



出典：青森県特定健診・特定保健指導実施率

## 【目標】

- ① 圏域において糖尿病死亡率や受療率が高い要因等、現状把握が不十分であるため、実態と課題を明確にします。
- ② 現状の保健・医療体制につながっていない潜在的糖尿病患者の掘り起しや、重症化の懸念があるにも関わらず医療を中断する患者への効果的な対応について検討を進めます。
- ③ 糖尿病の重症化予防のため、糖尿病に係る病診連携システムの構築を図ります。